

社会資本総合整備計画（市街地整備） 事後評価書

平成 29 年 10 月 3 日

計画の名称	安心して快適に暮らすことができる住みよい都市『豊橋』の形成									
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度（5年間）			交付対象	豊橋市					
計画の目標	本市は気候が温暖で、市域全体にわたり緑が充実しており、市民の意識としても多くの方が「住みやすい」と意識しています。その本市の特徴である「住みやすい」をキーワードとし、自然災害や交通災害に強い安全・安心で緑豊かなゆとりに満ちた快適な生活環境を確保し、その本市の都市イメージとしての住みよさを強調・発信することにより本市への転入促進を図り、さらに、中心市街地における魅力創造拠点プロジェクトとしての芸術・文化の交流拠点整備を行い、にぎわいの再生を図る。これらの相乗効果により、安心して快適に暮らすことができる住みよい都市『豊橋』を形成する。									
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業施行区域内における建築行為許可件数を339件（H22）から1,070件（H27）に増加 ・市民が身近に利用できる公園の整備率が41.0%（H23）から41.5%（H27）に増加 ・駅東口周辺3地点における休日歩行者通行量を18,298人／日（H21）から19,300人／日（H27）に増加 ・入園者数を675,624人／年（H23）から700,000人／年（H27）に増加 									
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考			
				当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)				
① 土地区画整理事業地区内において、土地区画整合法第76条に基づく建築行為許可件数（住居建築に関する件数）の累計を算定する。				339 件	770 件	1,070 件				
② 市内において、市民の生活圏内に様々な規模・緑地が体系的に整備されている状態を100とした場合の実際の整備率を算出する。 (市民が身近に利用できる公園整備率) = (供用箇所数 × (平均供用面積/公園・緑地標準面積)) / (住区数 × 1住区の公園・緑地標準箇所数) %				41.0%	41.2%	41.5%				
③ 駅東口周辺の芸術文化交流施設に近い3地点における休日歩行者通行量を測定して合計する。				18,298人／日	19,100人／日	19,300人／日				
④ 豊橋総合動植物公園への入園者数				675,624人／年		700,000人／年	事業最終年度はH32となっており H32最終目標値は1,000,000人／年			
全体事業費	合計 (A+B+C)	13,676百万円	A	10,876百万円(うち提案事業分 50百万円)	B	0百万円	C	2,800百万円	効果促進事業費の割合 (A(提案分)+C) / (A+B+C)	20.84%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
	平成29年10月
区画整理課、公園緑地課、「文化のまち」づくり課、豊橋総合動植物公園	公表の方法
	豊橋市ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H23	H24	H25	H26	H27		
1-A-1	都市再生整備計画	一般	豊橋市	直接	豊橋市	牟呂坂津地区都市再生整備計画事業	都市再生区画整理 27ha	豊橋市						1,983	
1-A-2	都市再生整備計画	一般	豊橋市	直接	豊橋市	牛川西部地区都市再生整備計画事業	都市再生区画整理、公園事業等 48ha	豊橋市						2,415	
1-A-3	都市再生整備計画	一般	豊橋市	直接	豊橋市	柳生川南部地区都市再生整備計画事業	都市再生区画整理、公園事業等 90ha	豊橋市						3,931	
1-A-4	公園	一般	豊橋市	直接	豊橋市	都市公園事業(牛川公園)	用地買収0.11ha	豊橋市						68	
1-A-5	公園	一般	豊橋市	直接	豊橋市	都市公園事業(汐田公園)	用地買収0.52ha	豊橋市						367	
1-A-6	公園	一般	豊橋市	直接	豊橋市	都市公園事業(坂津公園)	用地買収0.15ha、物件補償9戸	豊橋市						277	
1-A-10	再開発	一般	豊橋市	直接	豊橋市	西小田原町地区暮らし・にぎわい再生事業	芸術文化交流施設整備 0.4ha	豊橋市						1,290	暮らし・にぎわい再生事業計画
1-A-11	公園	一般	豊橋市	直接	豊橋市	都市公園事業(豊橋総合動植物公園)	園路及び広場、自然生態園整備(約5ha)	豊橋市						545	
小計												10,876			

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		
合計																

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H23	H24	H25	H26	H27		
1-C-1	施設整備	一般	豊橋市	直接	豊橋市	公園ガーデニング事業	既設公園等に花壇を設置(10㎡/箇所)	豊橋市						6	
1-C-2	施設整備	一般	豊橋市	直接	豊橋市	芸術文化交流施設関連施設整備事業	芸術文化交流施設関連施設の整備 0.4ha	豊橋市						2,678	
1-C-4	施設整備	一般	豊橋市	直接	豊橋市	豊橋総合動植物公園リニューアル関連施設整備事業	基本・実施設計、動物舎整備 4棟	豊橋市						116	
合計												2,800			

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C-1	都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業(1-A'-8)で市内の公園を安心して利用できるよう整備するとともに、花壇を設置し地域住民のボランティア活動として花植え、水やりなどの管理を行ってもらい、花と緑に囲まれた潤いのある豊かな地域形成を推進し、公園愛護の高揚、地域住民のコミュニケーション機会の拡大と連帯感を図る。	
1-C-2	暮らし・にぎわい再生事業(1-A-10)で整備される芸術文化交流施設と一体的に整備することで、芸術文化交流施設の機能を補完し、中心市街地の活性化に寄与する。	
1-C-4	都市公園事業(1-A-11)のリニューアルする施設整備の基本・実施設計を行うことにより事業進捗の円滑を図り、また、老朽化の著しい獣舎等を一体的に整備することで快適な環境形成を図り、公園利用の促進に寄与する。	

その他関連する事業

計画等の名称	安全で安心な豊橋の都市公園づくり(防災・安全)												
事業種別	交付対象	要素となる事業名 (事業箇所)					市町村名				全体事業費 (百万円)	備考	
1-A'-7	公園	豊橋市	都市公園事業(豊橋総合スポーツ公園)					豊橋市				158	防災・安全移行先
1-A'-8	公園	豊橋市	都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業(豊橋市)					豊橋市				482	防災・安全移行先
1-A'-9	公園	豊橋市	公園施設長寿命化計画策定事業(豊橋市)					豊橋市				45	防災・安全移行先
1-C'-3	施設整備	豊橋市	非常用便所設置事業					豊橋市				22	防災・安全移行先

A'	685百万円	B'	0百万円	C'	22百万円	(C'+C')/(A+A')+(B+B')+(C+C')	19.97%
----	--------	----	------	----	-------	------------------------------	--------

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・ 土地区画整理事業地区内の建築行為許可件数の増加は、目標値には及ばなかったものの9割以上の達成率であることから、住みやすい環境が創出され人口定着・定住促進が図られている。 ・ 市民が身近に利用できる公園整備率が41.0%から41.6%になったことから、緑豊かなまちなみが形成され、快適な生活環境の確保が図られている。 ・ 駅東口周辺3定点における休日歩行者通行量が18,298人/日から19,902人/日になったことから、中心市街地に新たな魅力が創造されたことにより、にぎわいが創出された。 ・ 豊橋総合動植物公園への入園者数が675,624人/年から797,521人/年になったことから、園路や動物舎等が整備されたことにより快適な環境が形成され、公園の利用促進に繋がっている。 			
II 定量的指標の達成状況	指標①（土地区画整理事業地区内において、土地区画整理法第76条に基づく建築行為許可件数（住居建築に関する件数）の累計）	最終目標値	1,070件	目標値と実績値 に差が出た要因	実績値を計測した平成29年6月末時点の許可件数は979件だが、平成28年度及び平成29年度事業分を差引くと860件となる。目標値と実績値に差が出た要因としては、一般に売り出す保留地について土地価格の状況や地区内の整備状況により、売り出しを先送りにしたことに加え、建物移転補償の進捗が当初の見込みより遅れたことが大きく影響している。
		最終実績値	979件（H29.6月末）		
	指標②（（市民が身近に利用できる公園整備率）＝ 〔供用個所数× 〔平均供用面積/ 公園・緑地標準面積〕 / （住区数×1 住区の公園・緑地標準個所数）%）	最終目標値	41.50%	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	41.60%（H29.3月末）		
	指標③（駅東口周辺の芸術文化交流施設に近い3定点における休日歩行者通行量を測定して合計する。）	最終目標値	19,300人/日	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	19,902人/日（H29.3月末）		
	指標④（豊橋総合動植物公園への入園者数）	最終目標値	700,000人/年	目標値と実績値 に差が出た要因	園内施設のリニューアルに伴い、公園の魅力が向上したとともに、夜間開園などのイベントを充実させたことにより、計画当初の想定以上に入園者数が増加した。
		最終実績値	797,521人/年（H29.3月末）		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）		<ul style="list-style-type: none"> ・ 土地区画整理事業地区内において、子育て世代である20～30代の地区内人口が1,067人から1,609人に増加し、幼児・児童である0～12歳の地区内人口が439人から964人に増加したことから、次世代に繋がるまちづくりとなっている。 			
3. 特記事項（今後の方針等）					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き土地区画整理事業をはじめ都市公園事業等を実施することにより、安全でゆとりを感じることができる居住環境を創出し、子育て世代が子育てをしやすく、子どもから高齢者まで安心して快適に暮らすことができる住みよい都市の形成を図る。 ・ 芸術文化交流施設利用の一層の周知を図るとともに、継続的な利用を促すため魅力ある事業の展開等の取組みを実施し、にぎわいの継続を図る。 ・ 引き続き豊橋総合動植物公園の都市公園事業を推進し、子どもから大人まで楽しみながら学べる公園の整備を図る。 					